

4. 地域薬学人材養成教育拠点形成プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2021年（令和3年）度】

<富山大学>

○ 早期介護体験実習

- ・1年生次に医薬看の学生の混成チームとなり、早期介護体験実習として福祉施設や慢性期病棟を持つ病院にて1週間の実習を受け、地域医療での医療人、またその中でも薬剤師の役割を学んだ。

<金沢大学>

○ がん高度医療人材養成事業

- ・学部生、大学院生及び薬剤師を対象として、がん薬物療法における最新知識及び臨床現場からのエビデンス発信スキルの修得を目的とした研修会を実施した。

<岡山大学>

○ 難病患者講演会（*）

- ・学部生、大学院生及び薬剤師を対象として、オンライン形式で、渡邊郁靖教諭（大分県立中津北高等学校教諭・書道家）による「生きることと題した難病患者講演会」を実施した。
- ・ALS患者としてのみならず教育者として、薬学に携わる者また教員に対して多くのメッセージをいただいた。講演会に先立ち、学生によるSGDを行い、ALSについて知る時間、さらに講演後に振り返りを設けた。薬学を学ぶ者、教える者にとって薬学がどのようなかたちで社会に貢献できるのか、また社会から期待されているのかを考える良い機会となった。

◇ 参加人数：84名

○ 津山洋学資料館訪問（*）

- ・学部生及び大学院生を対象として、津山洋学資料館訪問を実施した。幕末から明治期の美作地域にある医家の調合の間を再現した展示や『解体新書』の実物など蘭学が始まったころの資料を展示している資料館を訪問し、岡山に日本医学の原点がある

ことを知ることで、本学にて薬学を学ぶモチベーションの向上を図ることを目的としている。

- ・新型コロナウイルス感染拡大のためオンライン講義へ移行し大学での学びに対するモチベーション低下が懸念された1年生（34名）を対象に日帰り学外研修として実施した。

○ 国立療養所見学研修

- ・学部生及び大学院生を対象として、国立療養所見学研修を実施した。治療薬がなかったことで疾患への誤った医療知識が広まり差別を生み出したハンセン病の歴史を知り、医薬品に携わる者としての使命を自覚する機会として、岡山県内にある国立ハンセン病療養所長島愛生園を訪問した。

◇ 参加人数：14名

○ 川崎医大現代医学教育博物館見学及び倉敷芸術科学大学芸術学部学生との交流

(*)

- ・学部生を対象として、人体及び疾病について広く深い学習の場の見学により医療人としての自覚を促すと共に本学薬学部学生の備えるべき教養と人間性を涵養することを目的として、川崎医大現代医学教育博物館の見学と、倉敷芸術科学大学芸術学部学生との交流を実施した。
- ・薬学部学生にとって医療人としての自覚を促す観点からも重要な機会となり、また医学薬学の世界と違う形での創造性に富む意欲的な作品に触れ刺激を受けることで、薬学部学生の備えるべき教養と人間性の涵養の機会となった。

◇ 参加人数：学部生16名

<広島大学>

○ 遺伝子検査セミナーの開催

- ・学部生及び大学院生を対象として、薬局薬剤師と大学の共同での遺伝子検査セミナーを実施した。人の遺伝子検査が簡易に行われるようになり、間違った認識を持つ一般市民が増えるなど問題が発生する中で、薬局薬剤師が関与することによってこの問題を解決することを目指し、一般市民への啓発活動を行った。
- ・漢方薬局も加え東洋医学的観点からの生活習慣指導を行った。

<長崎大学>

○ 在宅医療・福祉コンソーシアム長崎

- ・学部生を対象として、在宅医療・福祉コンソーシアム長崎を実施した。
- ・薬学・看護学の統合教育体制を確立している長崎県内の国公立3大学（長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学）が、さらに医学・歯学等の教育者を加えた協働教育体制の充実を図り、県内の4自治体・12職能団体・2法人と連携し、一体となって、多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材養成の拠点作りを目指している事業である。

- ・2019年度は、長崎県内大学で単位互換が可能な授業科目として、薬学部から在宅医療関連の4つの科目を提供した。
- ・他大学からの履修希望者もいた夏季休暇中に実施予定の実習科目は、2020年度に引き続き新型コロナ感染拡大の影響で不開講となった。

○ 長崎薬学コンソーシアム

- ・学部生を対象として、長崎薬学コンソーシアムを実施した。薬学教育について、長崎大学薬学部、長崎国際大学薬学部、長崎県福祉保健部、長崎県薬剤師会、長崎市薬剤師会、佐世保市薬剤師会及び長崎県病院薬剤師会が一同に会し、情報交換を行うことにより、長崎県における薬学教育の充実及び発展を図った。
- ・2020年度は、2020年度に引き続き新型コロナ感染拡大の影響で定例会議をオンラインで開催した。